特別展覧会
東京聖徳学園創立 75 周年記念
児童学部・音楽学部開設記念

著名作曲家たちの書簡
―ロマン派から現代まで―」展

ごあいさつ

本年は学園創立 75 周年であり、大学はこれまでの人文学部に新たに児童学部と音楽学部が開設され、三学部に構成された記念すべき年でもあります。

本学の教育は実物に則して体験の中から学ぶことであり、教育用コレクションを、わが国はもとより、世界のあらゆる地域から収集し、活用しております。

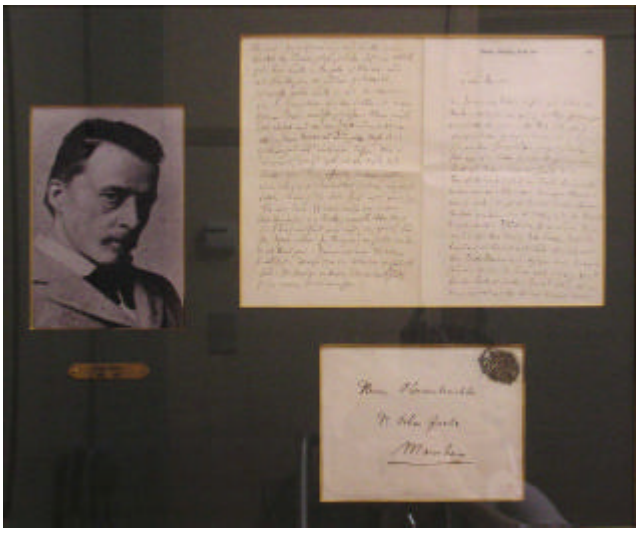
この度の、音楽学部の開設にあたりましては、クラシック音楽を基礎にして、現代社会で幅広く活躍できる音楽家、舞踏家、音楽教育者、音楽療法士の育成につとめます。その教育の一環として収集した貴重なコレクションの一部を公開いたします。

音楽学部の開設を記念するこの特別展は、ロマン派から現代にいたる、世界の著名作曲家 18 名の自筆書簡の公開であり、作曲家の人となり、作曲についての苦心の積み重ねなどを記しており、音楽教育を理解する一助になるものと信じております。

また、本年は、シューベルト没後 180 年にあたります。特別出品として「マニフィカート ハ長調」（第二オーボエ）の楽譜を併せて公開いたします。

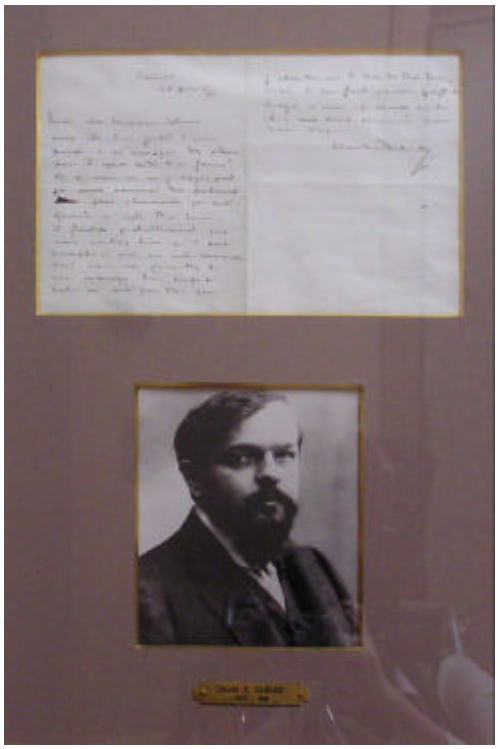
平成 20 年 7 月 14 日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖 徳 大 学 学 長
聖徳大学短期大学部学長
学 園 長　川 並 弘 昭



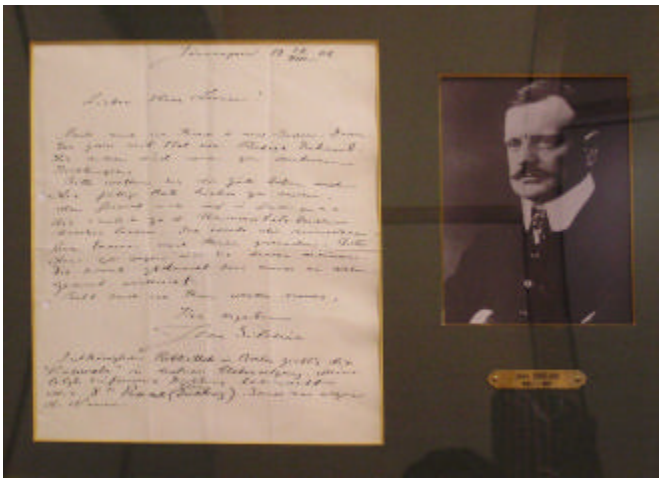
翻訳（冒頭の一部分）
親愛なる友へ
送付してくれた物受け取りました。タイトルはすぐ決まり、早速「イタリア歌曲集」全体を弾いてみました。大部分は全く忘れていました。これで分かったことは、僕が「お代官様」を書く以前に、すでに大物であったということです。僕は自分に尊敬の念を抱きました。僕がこう言っていたことを、誰かが記録しておいてくれればいいのに……

ヴォルフ（1860～1903　オーストリア）

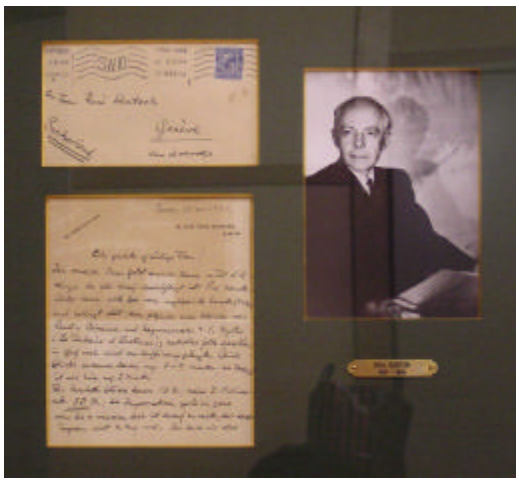


翻訳（冒頭の一部分）
親愛なるコロンヌ氏へ、
「牧神の午後」のチケットをお送り下さったお心遣い、本当にありがとうございました。もし私が伺えない時は、代わりに私などよりもっとチャーミングな方たちに行ってもらうことにします。「リア王」については、おそらく別な作品に代えたいと思っていらっしゃるはずです。何にするかはお楽しみです。だからといって「リア王」のアイデアを止めてしまおうとしているわけではありません……

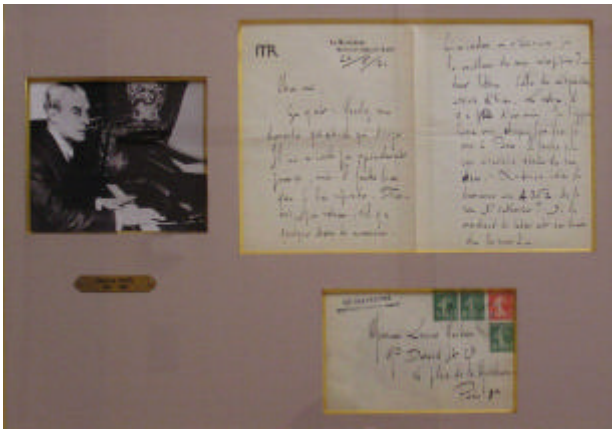
ドビュッシー（1862～1918　フランス）



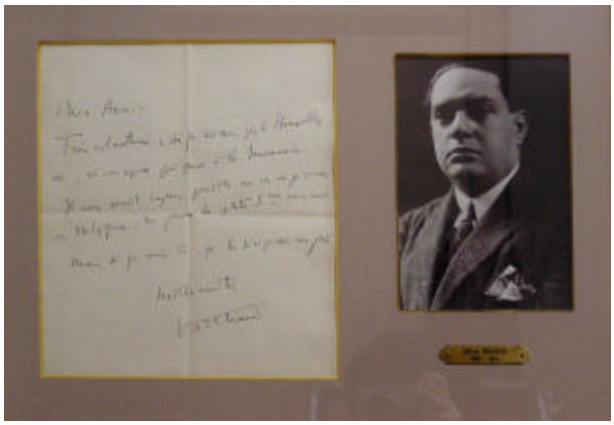
シベリウス（1865～1957　フィンランド）



バルトーク（1881～1945　ハンガリー）



ラヴェル（1875～1937　フランス）

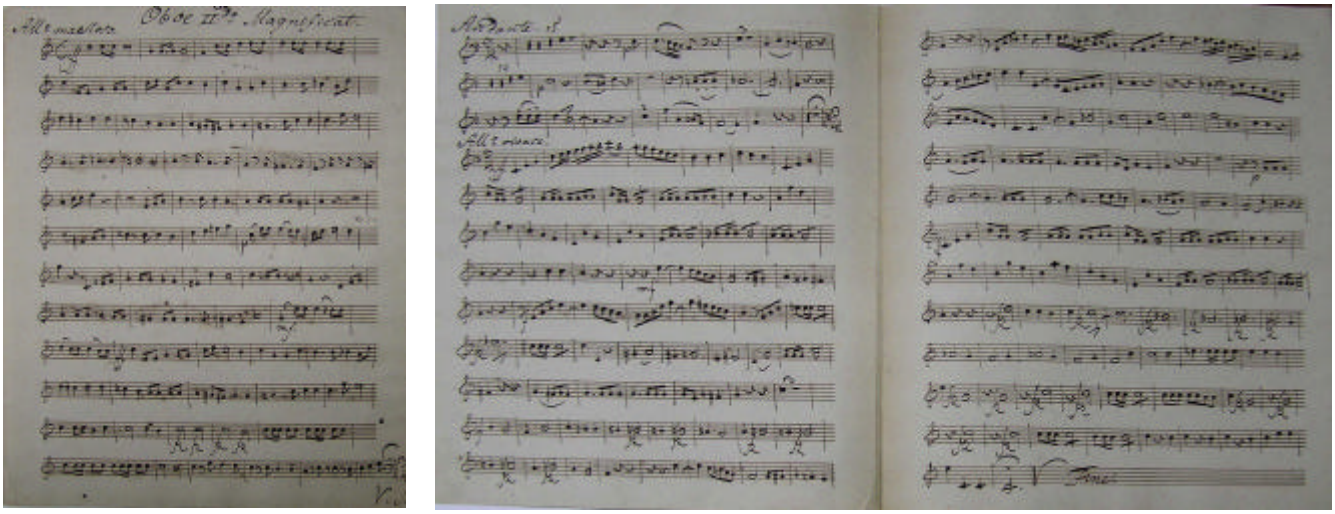


ミヨー（1892～1974　フランス）

没後 180 年として特別展示

「マニフィカート ハ長調」は、1815 年、シューベルトが 19 歳の時に作曲した。書き写されたオリジナルのパート譜だけでなく、自筆の管楽器やティンパニーのパート譜も現存している。完全に残っているパート譜は、ソプラノ、アルト、テナー、バスの独唱、合唱、二本のオーボエ、二本のファゴット、二本のトランペット、ドラム、弦楽器およびオルガンである。この原稿はシューベルト独自のはっきりとした几帳面な直筆で書かれている。シューベルトの自筆の楽譜は 31 歳という短い生涯のため非常に珍しい。

シューベルト（オーストリア　1797～1828）



「マニフィカート ハ長調」 完全な第二オーボエのパート譜

この他に展示している作曲家

マーラー、シュトラウス、デュカス、サティ、レーガー、シェーンベルグ、ストラヴィンスキー、ウェーベルン、ヴァレーズ、プーランク、ショスタコーヴィチ、ブーレーズ

会　　期：平成 20 年 7 月 14 日（月）～平成 20 年 10 月 11 日（土）
午前 9 時～午後 5 時　休館　毎日曜・祝日と学事日程による休業日）

会　　場：聖徳大学 8号館　利根山光人記念ギャラリー

会場への案内：JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも
松戸駅下車、東口より徒歩 5分

発行・お問い合わせ 聖徳大学川並記念図書館
Tel（047－365－1111（代）
http://www.seitoku.jp/lib/